

下関市都市景観賞 受賞物件

回	部門	賞区分	受賞案件
第1回 (平成8年度)		景観賞	宮田町通り
			下関南部町郵便局
			中国電力(株)下関発電所の煙突
			下関市営白雲台団地 S20.R21・22棟
			スタジオアイ
第2回 (平成9年度)		景観賞	壇貝川沿いのまちなみ
			森芳楽園社屋
			長府東公民館
			椋野台団地
			壇之浦の船だまり
	団体賞	彫刻シンポジウム実行委員会	
第3回 (平成10年度)		景観賞	梅光女学院大学短期大学部
			山口県立豊浦高等学校の白壁(塀)
			ロダン美容室
			向洋町の並木道
			美と安らぎのある街づくり彫刻群
	特別賞	旧山陽ホテル	
		山口銀行別館	
第4回 (平成11年度)	建築・都市部門	景観賞	彦島大橋
	環境・まちなみ部門		光風園病院・さくら寮・みどり園
	歴史部門		旧秋田商会ビル
	まちづくり部門		コスモスのある街づくり
			清末陣屋の池憩いのみち
第5回 (平成12年度)	建築・都市部門	景観賞	目会計事務所
	環境・まちなみ部門		東行庵
	まちづくり部門	景観賞	深坂桜街道
			国道9号沿いの桜並木と土塀風外壁
		特別賞	下関市役所第一別館
第6回 (平成13年度)	建築・都市部門	景観賞	あるかぼ〜と(海響館、唐戸市場、プロムナード)
	環境・まちなみ部門		綾羅木郷遺跡
	歴史部門		内日第1・第2貯水池取水塔
	まちづくり部門	景観賞	長府金屋のまちなみ
		奨励賞	下関花いっぱい計画
第7回 (平成14年度)	建築・都市部門	奨励賞	うに基本舗
	環境・まちなみ部門	景観賞	長府庭園と美術館に挟まれた道路
		景観賞	六連島灯台
	まちづくり部門	特別賞	山口県労働金庫 下関支店
		景観賞	友田川ほたる育成
		視点場「この場所から、この風景」	景観賞
彦島南公園			

平成8年度 第1回 都市景観賞

宮田町通り

活動団体：宮田1町街路樹愛護会・宮田2町街路樹愛護会
宮田町1丁目街路樹愛護会

ナンキンハゼ並木の通りが緩やかな坂をなし、高低差の中に四季を通して美しい並木通りを形成しています。

並木通りの清掃が行き届いており、美しい並木通りを大切にしている住民の熱意が感じられます。



下関南部町郵便局

所有者・管理者：下関南部町郵便局

歴史的に重要な建物を保全しながら、通りに面した窓際に四季折々の花を植えたり、鉢を置くなど、建物を通して美しい街角づくりを積極的に行っています。



中国電力株式会社下関発電所の煙突

事業所：中国電力株式会社下関発電所

煙突の塗装の色彩やデザインが瀬戸内沿いの遠景をなす市街地景観に調和すると共に、長府の歴史的街並みの景観を崩さないよう配慮されています。



下関市営白雲台団地 S20、R21・22 棟

建築主：下関市
設計者：株式会社早川邦彦建築研究室
施行者：日東建設・村上興業共同企業体、森建設工業株式会社、株式会社室田組、株式会社寿工務店

傾斜地という地形をうまく利用し、擁壁が少なく、眺望の楽しめる空間の確保など、生活にゆとりの感じられる快適な住まいづくりに積極的に取り組んでいます。



スタジオアイ

建築主：有限会社スタジオアイ
設計者：松原暁宏建築設計工房
施行者：有限会社中井建設

道路に対する表情の作り方や、3つのパーツに分けた建物のバランスがよく、曲線をうまく取り入れるなど、見た目の楽しさ、心地よさが感じられます。

斬新な意匠デザインですが、周辺の景観とうまく調和しています。



平成9年度 第2回 都市景観賞

壇具川沿いのまちなみ

自治会：川端自治会

川と水、緑と両サイドの民家が一体となり心地よい歩道環境を形成しており、川べりに花を植えたり、鯉が泳いでいるなど、道行く人を楽しませてくれます。



森芳楽園社屋

建築主：株式会社森芳楽園

設計及び施工者：株式会社安成工務店

会社社屋ですが、木造とし、前面旧街道の車幅に合わせ建物の高さを抑えており、積極的に植栽を施すなど、長府のイメージに合わせた地域の先駆的な景観形成の事例になっています。



長府東公民館

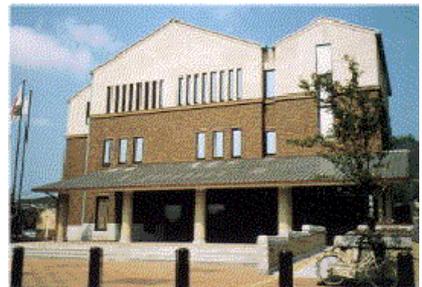
建築主：下関市

基本設計：下関市建築課

実施設計：有限会社エノモト設計室

施工者：株式会社松野工務店、高峰建設株式会社

長府地区の歴史的景観に配慮し、外観や色彩を蔵や土塀をモチーフにした重厚なものとしており、城下町長府の東の玄関口として賑わいの場を創出しています。



棕野台団地

事業主体：山陽チップ工業株式会社

自治会：棕野台自治会

建築協定を締結している団地で、電柱やコンクリート壁がなく、開放的で緑あふれる住環境を形成しており、斜面をうまく利用したゆとりある宅地割りと道路形態が自然と調和しています。



壇之浦の船だまり

団体：壇之浦漁業協同組合

土着建造物を生かしながら海峡とともに生活し、かつ生産活動も目の前の海峡で行っており、中心市街地に位置しながら漁港としての佇まいが保たれています。



団体賞

団体：彫刻シンポジウム実行委員会

彫刻による文学碑の設置を通してまちづくりを考えようとする団体で、文学碑の設置、彫刻文学碑フォーラムの開催、長府文学碑めぐりマップ作成等の活動を行っています。

市民がシンポジウムに参加できる道を開いており、市民のまちづくりへの参加意識を醸成しています。



平成10年度 第3回 都市景観賞

梅光女学院大学短期大学部

建築主：学校法人梅光女学院
設計者：株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所
施工者：大之木建設株式会社下関営業所

校舎に自然の素材を使用し、敷地全体にアイビー調の統一感のある雰囲気醸し出しています。

また、学校周辺で行われている高架道路の新設や歩道・バス停の整備が、キャンパスが醸し出す学園の雰囲気を壊さないよう配慮して進められており、学校のイメージが、周辺の公共施設の色彩に良い影響を与えています。



山口県立豊浦高等学校の白壁（塀）

管理者：山口県立豊浦高等学校

城下町に立地する学校として、城下町のもつ雰囲気を壊さないよう、塀を白壁風とし、門構えも整えて、広く周辺の空間が格調あるものになっています。



ロダン美容室

所有者・管理者：有限会社松原観光

建物に赤レンガが使用されており、初期洋館の魅力を良く維持しています。

また、明治時代に建てられた古い建物ですが、現在も美容室として十分活用されており、日々の生活の営みの場として親しみを与えています。



美と安らぎのある街づくり彫刻群

事業者：美と安らぎのある街づくり実行委員会
事務局：下関信用金庫

海峡を望む広い歩道に、彫刻的意識をもった文学碑と彫刻を連続的に配置することにより、都市の中にあるおいと楽しみのある新しい空間を創り出しています。

下関信用金庫によるメセナ事業であり、今後のメセナ事業を誘発する可能性を有しています。



特別賞

旧山陽ホテル

所有者・管理者：西日本旅客鉄道株式会社広島支社下関地域鉄道部



山口銀行別館

所有者・管理者：株式会社山口銀行

本市の近代化のシンボルとしての景観をよく維持しているユニークな建築物です。現在まで壊さずに保存されていることを顕彰するとともに、これからも更に活用され、下関市の魅力ある都市景観形成へ貢献されることを願い、下関市都市景観賞選考委員会より表彰されました。



平成11年度 第4回 都市景観賞

【建築・都市部門】

彦島大橋

所有者・管理者：山口県道路公社

下関では他に例の無いディビダーク工法による有鉄3径間ラーメン構造のコンクリート橋であり、小瀬戸海峡周辺の景色に溶け込んだ美しくやわらかい形状で親しまれています。

橋の近傍には、風車を備えた休憩所が整備され、橋上や隣接する老の山公園も含め、響灘が眺望できる視点場ともなっています。



【環境・まちなみ部門】

光風園病院 さくら

所有者・管理者：医療法人 愛の会

所有者・管理者：社会福祉法人 朋愛会

30種以上に及ぶ桜を始めとする四季折々の花や木々が広い斜面にわたって植えられており、また、全ての病室からなるべく瀬戸内海が望めるよう地形を生かした共生型の設計は、患者や来院者の心を和ませ、癒しの空間ともなっています。



【歴史部門】

旧秋田商会ビル

所有者・管理者：下関市観光施設課

大正時代に建設された建物であり、隣接する下関南部町郵便局とともに唐戸地区のシンボルとなっています。

洋風の外観に対し屋上には樹木や茶室が配置され、和洋折衷と屋上庭園のユニークな建物であり、地区のランドマークとしてライトアップも行われ、下関市の観光名所として生かされています。



【まちづくり部門】

コスモスのある街づくり

まちづくり団体：川中まちづくり協議会

地区の中心を流れる河川の環境美化を図るため、数年前より自治会が中心になってコスモス街道づくりに取り組んでおり、秋にはコスモス祭も開催され、住民の憩いの場として、また、河川沿いの散歩できるゾーンとして多くの市民に親しまれ、美化活動の広がりも期待させます。



【まちづくり部門】

清末陣屋の池憩いのみち

まちづくり団体：清末ふるさとまちづくり推進協議会

不用になり放置されていたため池が、地元住民の運動により、野鳥が飛来する自然環境の豊かで親しみ深い池として再生され、住民と行政が協力して管理・手入れを行い、パートナーシップの可能性を示しています。



【建築・都市部門】

目会計事務所

建築主：(株)目会計事務所
設計者：(株)小川晋一都市建築設計事務所
施工者：清水建設(株)広島支店

国道沿いに立地しながら平屋建てとし、高さが抑えられ、敷地の面積に比べ空間的なゆとり、広がりを感じられます。総面ガラス張りのシンプルな建築は周囲に溶け込んで、長府の景観づくりの中でユニークな新しいかたちを示しています。

駐車場床面には緑化ブロックを使用し、積極的に緑の確保に努めています。また、建物の新築の際、既存の土塀風外壁を壊さずに残し、周囲の街並みへの配慮が感じられます。



【環境・まちなみ部門】

東行庵

団体：吉田観光協会

定期的に清掃活動を行うなど、地元住民、まち全体が地域のシンボルとして東行庵とその周辺を大切にしています。また、菖蒲祭りやもみじ祭りなどの行事を展開することにより、戦略的に環境づくりを進めるとともに、地域の活性化にも寄与しています。



【まちづくり部門】

深坂桜街道

まちづくり団体：下関響灘ライオンズクラブ

深坂自然の森公園に桜並木を植樹する事業です。植樹にあたっては、公募により桜オーナーを募集しており、市民の誰もが参加できるしくみづくりを実践しています。



国道9号沿いの桜並木と土塀風外壁

まちづくり団体：(株)神戸製鋼所長府製造所

大規模工場でありながら、隣接する城下町の歴史的街並みを崩さないよう、桜並木の保全や、外壁を土塀風に改修するなど、景観の保全に積極的に取り組んでいます。また、外壁の改修にあたっては、一部をセットバックすることによりバス停を拡幅しており、バス利用者及び歩行者に安全のためのスペースを提供しています。



【特別賞】

下関市役所第一別館

所有者・管理者：下関市総務部総務課

本市の近代化のシンボルとしての景観をよく維持しているユニークな建築物です。現在まで壊さずに保存されていることを顕彰するとともに、これからもさらに活用され、また市民各層の協力を得ながら下関市の魅力ある都市景観形成へ貢献されることを願い、下関市都市景観賞選考委員会より表彰を行ったものです。



平成13年度 第6回 都市景観賞

【建築・都市部門】

あるかぼ〜と（海響館、唐戸市場、プロムナード）

管理者：下関市港湾局

海響館は、海峡側にガラスの壁面を設けることにより海峡の風景を取り込み、開放感を演出するとともに、対岸及び海からの視点を重視した造りにより、あるかぼ〜とのシンボルとなっています。ライトアップを行って、下関の魅力ある夜間景観の創出にも寄与しています。

唐戸市場は、後背の亀山八幡宮からの眺望に配慮し、建築高を抑え、天井に海峡が望める芝生広場を設置するなど、海峡を意識した開放的な造りが成功しています。

プロムナードは、幅員を十分にとったウッドデッキとすることにより心地よい歩行空間を提供するとともに、連続して海峡を望む絶好の視点場となっています。ところどころにステージを設けることにより、各種イベント等が開催されており、賑わいの空間を創出しています。

これら海響館と唐戸市場及びそれらを繋ぐプロムナードが三位一体となり互いの付加価値を向上させており、あるかぼ〜と地区一帯の景観向上への相乗効果を生み出しています。

橋の近傍には、風車を備えた休憩所が整備され、橋上や隣接する老の山公園も含め、響灘が眺望できる視点場ともなっています。



【環境・まちなみ部門】

綾羅木郷遺跡

管理者：下関市教育委員会文化財保護課

歴史的価値の高い綾羅木郷遺跡の地を公園化し、いにしへの時代を彷彿とさせる牧歌的で広々とした芝生が大らかな景観を形成しています。

公園内に立地する市立考古博物館は、円と直線を基調に低層で設計され、色彩は低彩度とし、遺跡公園ののびやかな雰囲気壊さないよう配慮されており、遺跡公園としての相乗効果を生みだしています。



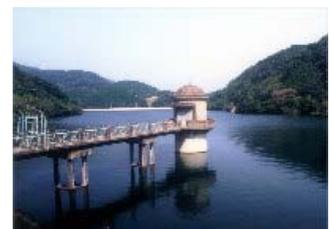
【歴史部門】

内日第1・第2貯水池取水塔

管理者：下関市水道局浄水課

第1貯水池取水塔は明治39年に全国9番目として、また、第2貯水池取水塔は昭和4年に完成した近代遺産の水道施設であり、90年以上経った現在も現役として市内に給水を行っています。市内でも屈指の自然が豊かな地区に立地しており、周囲の水辺の自然と調和した美しい景観をつくっています。

洋風の外観に対し屋上には樹木や茶室が配置され、和洋折衷と屋上庭園のユニークな建物であり、地区のランドマークとしてライトアップも行われ、下関市の観光名所として生かされています。



【まちづくり部門】

長府金屋のまちなみ

まちづくり団体：長府金屋地区街づくり協定運営委員会

道路拡幅に伴い、街なみ環境整備事業の適用により町家風のまちなみの形成を進めています。住民によりまちづくり協定を締結し、街なみ整備基準を定め、歴史的な街なみの形成に取り組む地区住民が一体となった姿勢に熱意が感じられます。



【奨励賞】

下関花いっぱい計画

まちづくり団体：下関景観協議会

事務局：(財)下関21世紀協会

市民のみなさんによる自主的な景観形成活動の芽生えに対し、更なる活動の継続と下関市の魅力ある都市景観形成に一層貢献されることを願い、下関市都市景観賞選考委員会より表彰されました。



平成14年度 第7回 都市景観賞

【環境・まちなみ部門】

長府庭園と美術館に挟まれた道路

管理者：下関市建設部道路建設課

長府庭園と美術館という異なった趣の施設に挟まれた道路だが、双方の魅力を高めるため、洗い出し仕上げの歩道の整備や植生を残した水路改修などがなされ、城下町長府の雰囲気醸し出す緑と潤いあるユニークな通りを実現しています。



【歴史部門】

六連島灯台

管理者：第7管区海上保安本部 関門航路標識事務所

明治4年11月21日に日本で早い時期に建造された洋式灯台の一基で、明治5年には明治天皇が天覧されたという記録も残っています。今日までの132年間、関門海峡の西口にあって数千隻の船舶の安全を見守ってきました。光源は、植物油、石油、ガス、電気と近代化されてきたが、外観が当時のまま存在している灯台では、4番目に古く六連島のシンボリックな景観を形成する重要な施設となっています。



【まちづくり部門】

友田川ほたる育成

活動主体：安岡自治連合会

小学校、自治会、ライオンズクラブの3者が協力し、それぞれの役割分担を果たしながら蛍のよみがえりを図り、連携した取り組みで友田川の環境整備に貢献しています。環境・景観に対し青少年育成を含めた地域一体の粘り強い活動への熱意を評価しました。



【建築・都市部門 奨励賞】

うに基本舗

管理者：株式会社うに基本舗

商業建築としてモダン志向の中にも、いぶし瓦のタイルの使用や下屋の設置など和風を目指し、重厚感があります。建物自体の存在感を主張しながら周辺のまちなみに馴染むような工夫・努力を評価し、今後のまちなみづくりの契機となることを願い下関市都市景観賞選考委員会より表彰しました。



【歴史部門 特別賞】

山口県労働金庫 下関支店

管理者：山口県労働金庫

昭和9年に建設された建物で、関東大震災の教訓を基に基礎部分に免震構造が採用されています。建物の歴史性・文化性を生かしながら現在も活用され、都市の景観として特長ある存在感を示している点を評価し、下関市都市景観賞選考委員会より表彰を行いました。



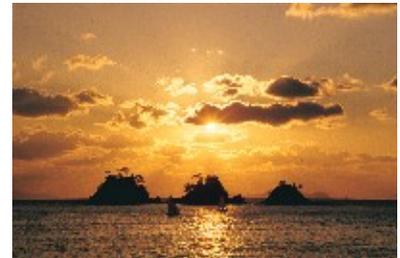
視点場「この場所から、この風景」

これまで、下関の持つ素晴らしい自然景観や、見晴らしの良い場所と風景を改めて市民相互に認識し、評価しあう必要があると感じてきました。そこで、「この場所から、この風景」を評価すべく、その例として今回から次の2件を「視点場」として指定しました。

大字吉見から福江海岸

対象：海岸線から見る夕日

水面を赤く染め水平線に沈み行く夕日と島影は、ゆったりとした時の中で、一日を静かに終えるやすらぎを感じさせます。



彦島南公園

対象：関門海峡

関門橋から北九州日明港まで関門海峡のパノラマ景観が一望でき、力強い潮の流れと航行する船、あるいは海峡を挟んだ対岸の風景が印象的です。

